

1 プロジェクト名

静岡市フードドライブ強化プロジェクト

2 実施理由・背景

日本では、まだ食べられるのに様々な事情により処分されてしまう、いわゆる「食品ロス」は年間612万トンと推計されている。一方で、生活に困窮し、明日の食にも事欠く人が増加している。

この2つの矛盾した社会課題を結びつけ、企業などより捨てられてしまう食品の寄贈を受け、生活に困った人に無料で配布する活動がフードバンクである。

新型頃ウイルス感染拡大に伴い、生活に困り、食を求める依頼件数は倍増した。食品ロス削減推進法が施行され、国民の食品ロスに対する意識も向上している中、この2つの社会課題の解決に向けて、静岡市における認知度も上げ、様々な立場の人と連携して活動を行っていく必要がある。

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

静岡市においては、主に静岡市役所生活支援課、ごみ減量推進課、静岡市社会福祉協議会等と連携し、フードバンク活動を推進しているが、連携団体のさらなる増加・深化を目指すため、次の事業を行う。

- 2022年 8月 夏季フードドライブ開催
- 2022年 9月 夏季フードドライブ仕分け作業
- 2022年10月 食品ロス削減推進月間に伴う啓蒙活動
- 2023年 1月 冬季フードドライブ開催
- 2023年 2月 冬季フードドライブ仕分け作業

その他、随時、個別フードドライブや出前講座など、啓蒙活動を行う。

4 目指すところ

静岡市内のフードバンク及びフードドライブの認知度を向上させ、食品ロスの削減ならびに一人でも多くの生活困窮者に対する支援を行うことを目的とする。

5 寄附の使い道

フードドライブ開催・啓蒙活動実施に係る諸経費
(ダンボール等の消耗品費、チラシの印刷費、レンタカーや食品輸送にかかる費用)

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額： なし 円

ネクストゴール設定時の事業計画

7 目標金額に満たない場合

自己負担額を増額して実施する。

8 団体紹介

「食品ロス」と「生活困窮者支援」の2つの課題解決をミッションに、2014年5月に設立。同年10月にNPO法人として認証され、2017年3月に認定NPO法人となった。

コロナ禍において食品依頼件数および食品寄贈総量が増加し、2020年度は依頼件数が6,403件（2019年比223%）、食品寄贈総量が91トン（同168%）となった。

9 広報計画

HPやSNSでの告知のほか、理事会内で寄付金集めのためのワーキンググループを結成し、メンバー全員で広報活動を行う。

10 目標金額

1,209,000円

積算書

団体名：特定非営利活動法人フードバンクふじのくに

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
	ふるさと寄附金		1,209 千円
合 計			1,209 千円

支出			千円
	科目	内容・数量	金額
事業費	消耗品費	事務用品 (100 千円) 食品回収用ダンボール (40 千円×2 回) ダンボール (100 千円×2 回)	千円 380
	車両費	ガソリン代 (50 千円) レンタカー代 (12 千円×10 日) 食品輸送費 (150 千円×2 回)	470
	印刷費	フードドライブ実施に係るチラシ (50 千円×2 回)	100
	通信費	備品・チラシ等郵送 (50 千円×2 回)	100
その他	手数料相当	12%+税	千円 159
合 計			1,209 千円